



災害調査委員会

Disaster Investigation Committee

災害調査委員会は、国内外で発生した地震災害の調査や、その成果の社会への還元に資するために設置されました。これまでに、学術調査団が派遣される場合の学会窓口、災害発生直後の情報交換、学会HPへのリンク集の掲載、学術報告会への協力等を主とした活動を行ってきました。近年は主に、日本地球惑星科学連合(JpGU)の環境災害対応委員会及び防災学術連携体の活動に参加して、他の学協会との連携を進めています。

2025年度委員

馬場俊孝(委員長:徳島大学), 吾妻 崇(産業技術総合研究所 活断層・火山研究部門), 蔵下英司(東京大学地震研究所), 田所敬一(名古屋大学 地震・火山研究センター), 藤井雄士郎(建築研究所), 松島信一(京都大学防災研究所)

日本地球惑星科学連合(JpGU)環境災害対応委員会での活動

環境及び災害に関係する諸問題に対応するため、地球惑星諸科学の研究協力、交流活動及び関連する学術団体等との連携を推進することによって、地球惑星科学の発展と普及に寄与することを目的として活動しています。平時においては、災害や環境に関するユニオンセッションやパブリックセッションを提案・開催しています。

■ 参加学協会(2025年度)

日本応用地質学会、日本海洋学会、日本火山学会、日本活断層学会、日本気象学会、日本鉱物科学会、日本古生物学会、日本地震学会、日本自然災害学会、日本水文科学会、日本雪氷学会、日本堆積学会、日本第四紀学会、日本地下水学会、日本地球化学会、日本地形学連合、日本地質学会、日本地図学会、日本地熱学会、日本地理学会、日本地理教育学会、日本リモートセンシング学会、水文・水資源学会、大気化学会、地学団体研究会、地球環境史学会、地球電磁気・地球惑星圏学会、地理科学学会、地理情報システム学会、東京地学協会、東北地理学会

防災学術連携体での活動

様々な自然災害に対する防災や災害発生後の復旧活動に関わる多くの分野の学会が日本学術会議を要として集まり、日頃から学会の連携を進める活動を実施して、緊急事態時に学会間の緊密な連絡がとることができるように備えています。平時においては、日本学術会議主催の学術フォーラムや防災学術連携シンポジウムの開催、「防災推進国民大会(ぼうさいこくたい)」におけるセッション提案と実施などのほか、府省庁との連絡会を開催しています。防災学術連携体は、2021年に一般社団法人になりました。

■ 参加学協会(2025年)

安全工学会、横断型基幹科学技術研究団体連合、環境システム計測制御学会、空気調和・衛生工学会、計測自動制御学会、こども環境学会、砂防学会、水文・水資源学会、石油学会、ダム工学会、地盤工学会、地域安全学会、地理情報システム学会、土木学会、日本安全教育学会、日本応用地質学会、日本海洋学会、日本火災学会、日本火山学会、日本風工学会、日本活断層学会、日本看護系学会協議会、日本機械学会、日本危機管理防災学会、日本気象学会、日本救急医学会、日本計画行政学会、日本建築学会、日本原子力学会、日本航空宇宙学会、日本公衆衛生学会、日本古生物学会、日本コンクリート工学会、日本災害医学会、日本災害看護学会、日本災害情報学会、日本災害復興学会、日本自然災害学会、日本社会学会、日本森林学会、日本地震学会、日本地震工学会、日本地すべり学会、日本造園学会、日本第四紀学会、日本地域経済学会、日本地球惑星科学連合、日本地形学連合、日本地質学会、日本地図学会、日本地理学会、日本都市計画学会、日本水環境学会、日本リモートセンシング学会、日本緑化工学会、日本ロボット学会、農業農村工学会、農村計画学会、廃棄物資源循環学会、東京建築士会(特別会員)、日本建築構造技術者協会(特別会員)、日本免震構造協会(特別会員)



公益社団法人

日本地震学会

The Seismological Society of Japan (SSJ)